

サイエンスカフェの概要について（事後報告）

1. 開催日時：令和 5（2023 年）年 9 月 25 日（月） 18 時 00 分～19 時 30 分
（参加者の要望により 20 時まで延長）
2. 開催場所：名古屋大学 ナショナル・イノベーション・コンプレックス（NIC 館）idea stoa（対面開催）
3. 関係団体等：
名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部
日本学術会議総合工学委員会・機械工学委員会合同フロンティア人工物分科会
4. 役割
講師：佐宗 章弘（日本学術会議連携会員、名古屋大学大学院工学研究科教授・副総長）
進行：高橋 将太（名古屋大学素粒子宇宙起源研究所 特任助教）
5. 概要：
10～70 代の一般市民を対象に、レーザーを活用し宇宙ゴミを除去する新規技術の開発について紹介した。前半は、宇宙ゴミ問題の本質、課題、今後のあり方について、参加者からの質問やコメントを交えながら共に語り、学ぶ時間とした。後半は、長年に開発を続けてきたレーザー技術のメカニズムについて実験映像を用いて解説し、スカパーJSAT との共同プロジェクトの具体的な計画や将来像を紹介した。
本企画は、講師と進行（参加者）とのやりとりの中でトピックを深掘りする、トークメインのイベントとして開催。スライド資料を使わずに、参加者とのライブコミュニケーションを重視した。参加者からは、技術開発に関する具体的なアイデアや、隕石衝突対策への応用に関する質問などが活発に飛び交い、ライブならではの活気と会場の一体感を生むことができた。イベント終了後も高校生参加者を中心に深い対話が繰り広げられ、参加者—講師および参加者—参加者の活発な交流の場となった。
6. 参加人数：
講演者等：講師 1 名、進行 1 名
参加者：42 名
7. 特記事項：
参加者 42 名中、10 代（中高生）は 20 名。